

松禪寺報

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

<http://syozen.com>

第33号

発行 平成20年12月25日

初詣は我が家の仏壇から

今年も年の瀬を迎えました。仕事納めの前に片付けておかなければと仕事に励む人や、家庭では掃除や正月を迎える準備で忙しくされていくことでしょうか。除夜の鐘が聞こえてくれば、ああ新しい年を迎えることができるなあと思つづく思われます。

さて、新年を迎えれば多くの皆さんが神社に初詣をされます。クリスマス、感謝祭といろいろな行事に参加された人たちも、正月は晴れ着を着て神社に詣でるのが昔からの習慣になっています。

ところで、神社に詣でるまえに忘れないでほしいのが、我が家のお仏壇に手を合わせることです。

今日ここにこうして、新しい年を家族そろって迎えることができたのも、それはただの偶然ではなく、は

るか昔から、途絶えることなく生命の火を灯しつづけて来てくれた、何代にもわたるご先祖様のお

かげであり、そう思えば、こうして人として生まれ、生きていることを（そこには色々つらいこと、苦しいことがあるにせよ）、深く感謝すべきでしょう。また現在の生活は、実に多くの人々の労働と智恵のおかげだということにも思い至る必要があると思います。

仏壇の前で手を合わせるの、何かをお願いするのではなく、そうした感謝の気持ちを、合掌という形で表すのです。また、今では深い山のかにお墓があるというお家は少なくなりました。雪もなく足下が良ければ、どうぞお墓にもお参りください。盆や彼岸だけではなく、家族揃って無事に新年を迎えることができた喜びを、ぜひ墓前で報告してください。そうすれば、新春らしい晴れやかな気持ちになるものです。

お子さんたちに、小さいうちから感謝し手を合わせる習慣をつけておくと、きっと心の優しい人に育つと思います。



山陰東教区花園地方大会を開催

報恩の心を一つにして研修

山陰東教区花園地方大会が10月18日(土)、朝来市和田山町の幸徳殿を会場に開催され、当寺からは総代の平石義信さん、福田春夫さんが出席しました。今回は、午前10時から寺院役員研修として

秋期特別布教を、午後からは一般会員を対象にした花園地方大会というプログラムでした。午前、午後いずれも約140人の参加で、延べ出席者280人という盛会ぶりでした。



▲但馬、鳥取から延べ280人もの花園会員が結集した花園地方大会=10月18日、和田山

午前の部では、教区第一部の花園会会長・椿野昌氏(青蓮寺総代)が開式を宣言、続いて読経及び回向、教区宗務所長・濟東英師(神照院)、教区花園会長・黒田亮氏(寶積寺総代)が挨拶を述べ、教区第四部花園会長・寛修氏(廣徳寺総代)が閉会と布教師の紹介を行いました。

引き続き、本派布教師である森哲外師による「請う、その本を務めよ どう活かすわた



▲区画工事が進む霊園

かねてより豊岡市に申請しておりました墓地経営許可及び農地転用が、11月20日付けで許可がおりました。さっそく工事を着工しておりますが、年末で業者も多忙を極めており、区画工事などが完了するのは一月末頃になるものと思われます。ご予約いただいたおりました皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解ください。なお、区画工事が完了次第、予約者の皆様を対象に説明会を開きます。

松禪寺霊園として認可降りる

「しののち」と題しての法話がありました。

午後からは「求められる寺院と花園会員としての喜びとお勤め」をテーマに山陰東教区花園地方大会を開催しました。開式行事のなかで本山花園会本部長の 一色宏襄師が御宸翰奉読(ごしんかんほうどく)、引き続き本派管長さんの総裁御垂訓を代読され、『脚下照顧』と題して大会テーマを説かれました。

また、教区人権擁護推進委員の

小西景久師(正音寺)が『昨今の人権問題について』を報告、続いて高橋乾峰(松禪寺)が50年前の遠諱法要に際して作成された『開山無相大師のご一生』の紙芝居をプロジェクトで上映しました。

本山と末寺や花園会員との絆を強め、さらには開山様の教えを学ぶ機会としての役割もこの大会にはあり、花園会員として報恩の心一つにして己事究明に努めた一日でした。

達磨忌と當山開山忌を執行

お斎(とき)はけんちん汁など手作り料理で

禅宗の第一祖である達磨大師の法要を11月3日、松禪寺檀信徒皆さんと一緒に執り行うと共に、併せて松禪寺の開山忌を営みました。午前8時半からは当番さんたちが集まって、お昼に参拝者にお出しする食事作りが始まり、ふだん静かなお寺も活気が増します。



午前11時半から本堂において法要を執り行い、続いて住職から松禪寺の歴史についてお話しをしました。松禪寺の前身である松葉庵は郷路岳にありましたが、いつから寺が開かれたのかは不明です。現在地に移転してきたのが寛文4年、ちょうど江戸幕府が寺請制度を制定した頃になります。その寺

の檀家として今も皆さんとのつながりが脈々と続いていることにお互いが感謝しなければならぬと思います。その後は斎座です。けんちん汁、ふろふき大根、白和え、黒豆の炊いたん、さしみこんにやくなど、当番さん手作りのご馳走をいただきます。食事が終わって、「開山様のご一生」のライドも上映し、来たる平成21年の開山無相大師六五〇

年遠諱団参への参加もお願いしました。

この行事は二祖忌といって、禅寺ではとても大切なものです。達磨大師の寂年は定かではありませんが、今日禅寺では10月5日を忌日としています。当山では昔から一月遅れのこの時期に営んできました。禅宗の初祖として、このような報恩の行事が全国で行われています。

ぜひ、来年もお参りください。なお、当日は西谷の桂昌寺でも達磨忌を、午後6時から営みました。←自然の恵みを活かした手作り料理、ご馳走様でした。



神戸但東会の皆さんが来山



但東町出身者などが集う神戸但東会の会員さん13人が11月19日の午後、当山へお越しになりました。突然の来訪でしたので十分な説明もお持て成しませんでした。薬師堂と本堂をそれぞれ拝観されました。但東に縁のある方や出身の方々ですから、懐かしい話にも花が咲きました。この後、皆さんは宿泊先である「やまびこ」へ移動され、夜は地元の方も加わっての交流会が催されたようです。

お知らせ & お願い

◆役員任期満了について

本年末日をもって総代(花園会役員)の任期5年が満了となりま
す。総代6名は各集落から檀信徒
の推薦などによって選ばれ、住職
が任命するよう規則に定められて
います。護持運営のために是非と
も選出にご協力いただき、万事円
満に進みますよう全檀信徒のご理
解とご協力をお願いいたします。
なお、選出にあたり留任の妨げは
ありません。

また、評議員(14名)について
は一年で交代される地区が多いの
ですが、新たに評議員となられた
方のお名前の報告を速やかに願
いいたします。評議員総会は、明
年2月中旬を予定しています。

◆年頭について

正月2日より年頭に各檀家さん
を回らせていただきます。2日は
但東町内を回り、それ以外は3日
に回りますので、よろしく願

いたします。

◆松禪寺霊園について

本紙2面にも掲載しましたとお
り、松禪寺霊園としての認可を受
けて総代会では霊園墓地管理使用
規則及び施行内規を定めました。
新たに墓地を求めておられたり移
転を考えておられる檀信徒の方が



除夜の鐘

午後十一時四十五分頃撞き始め

おられましたら、ぜひ松禪寺霊園
での建立をご検討ください。詳細
について総代かお寺へご相談くだ
さい。



行く年来る年、大晦日は除夜の
鐘を撞いてみませんか。今年も大
晦日には、お参りの皆さんによつ
て除夜の鐘が撞かれます。除夜と
は、除日(じょじつ)の夜といい、
旧年を除く日と辞書にはありま
す。その夜に鳴らす「除夜の鐘」は、
年を越すにあたり人の心にある
百八つの煩惱を清らかな鐘の響き
で鎮め、新しい気持ちで新年を迎
えようとする仏事のひとつです。
12月31日(水)の午後11時45分
頃から撞き始める予定です。本堂、
薬師堂へのお参りもできます。温
かい飲み物なども用意しています
ので、ぜひお参りください。

平成二十一年度 年忌法要

ご案内

平成21年(二〇〇九年)に年忌
法要を迎える故人の歿年度は左記
のとおりです。法要の実施日につ
いては、なるべく早めにご連絡く
ださい。年忌正当年にあたられる
ご先祖様がおられるかの確認は、
寺へ電話でお尋ねくださるか、年
忌操出(ねんきくりだし)を本堂
に張り出していますので、寺にお
越しの際にご覧ください。また、
年明けには個別に通知を差し上げ
ます。

【平成21年度年回表】

- 一周忌 平成20年没
- 三回忌 平成19年没
- 七回忌 平成15年没
- 十三回忌 平成9年没
- 十七回忌 平成5年没
- 二十五回忌 昭和60年没
- 三十三回忌 昭和52年没
- 五十回忌 昭和35年没
- 百回忌 明治43年没